

広東省・広州市・深セン市・福建省・広西チワン族自治区・海南省

2019年2月18日～24日

I. 広東省

1 中国国務院が広東・香港・マカオビッグベイエリアの要綱を発表

●18日、中国国務院は、全11章からなる、広東省、香港、マカオの地域間経済協力を強化する旨の「広東・香港・マカオビッグベイエリア発展計画要綱」を発表した。発展目標として、2022年までに広東・香港・マカオビッグベイエリアの総合的な実力を大幅に強化し、国際的な一流の湾区と世界レベルの都市群を構築する。また、2035年までに、イノベーションを主要な柱とする経済体制と発展モデルを形成し、一流の湾区を全面的に建設する（19日付「南方日報」1面、5面）。

2 2018年の東莞市の実質成長率は7.4%増

●20日、2018年東莞市活動総括大会が開催された。2018年の東莞市の名目GDPは8,278.59億元で実質成長率は7.4%増、輸出入総額は1.3兆元を突破し、輸出入総額が中国の都市別では上位5位だったと発表した（21日「深セン特区報」11面）。

3 李希・広東省党委書記と馬興瑞・広東省長が香港中華総商会訪問団と会見

●2月20日、李希・広東省党委書記と馬興瑞・広東省長が広州市で香港中華総商会訪問団と会見した。会見で、李希・省党委書記は、このほど「広東・香港・マカオビッグベイエリア発展計画要綱」が公布され、ビッグベイエリア建設の新たな建設段階に入った。香港中華総商会と会員企業は絶好の機会を掴み、大湾区建設の更なる発展に助力してほしいと述べた。香港中華総商会代表団のメンバーは、積極的に広東・香港・マカオビッグベイエリア建設に参加し、国際的な一流の湾区と世界レベルの都市群の構築に貢献するために努力したいと述べた（22日付「南方日報」1面）。

II. 広州市

1 23件のプロジェクトが始動

●20日、広州ハイテク産業開発区、広州経済技術開発区、黄埔区が、23件の大型プロジェクト契約を一斉に行った。内訳は、企業本部設置プロジェクトが14件、先進製造業プロジェクトが5件、イノベーションプラットホームプロジェクトが4件だった。投資総額は1,000億元を超える見込み（21日付「広州日報」3面）。

2 白雲区が違法建築物の解体を推進

●21日、白雲区都市管理・電子化推進活動大会が開催され、2017年の違法建築物の解体は6,897棟（前年比60%増）、解体面積は527.8万平方メートル（同比86%増）だったと発表した。また、今年の違法建築物解体目標は1,200万平方メートルと発表した（22日付「広州日報」8面）。

Ⅲ. 深セン市

1 生活ごみの分別に関する規定の草案を発表

●21日、深セン市人民代表大会常務委員会は、生活ごみの分別に関する規定の草案を発表し、パブリックコメントの募集を開始した。草案では、ごみの分別基準やゴミの捨て方、罰則等について定めている（21日付「深セン特区報」2面）。

Ⅳ. 福建省

1 福州市の1人当たりの名目GDPが10万元突破

●福州市政府によれば、2018年の福州市の名目GDPは7,856.81億元（前年比8.6%増）で、1人当たりの名目GDPが102,037元となった（18日付「福建日報」3面）。

（当館注）福州市統計局によれば、福州市の2018年の常住人口は774万人で、福建省全体の19.6%を占める。

Ⅴ. 広西チワン族自治区

特になし。

Ⅵ. 海南省

1 2019年1月の海南省の貿易総額は前年同月比30.9%増

●海口税関の発表によれば、2019年1月の海南省の貿易総額は95.9億元で前年同期比30.9%増だった。そのうち、輸出は26億元で前年同月比17.9%増、輸入は69.9億元で同比36.2%増だった。海口市の輸出入総額は44.3億元で海南省全体の46.2%を占めた（19日付「海南日報」1面）。